

事務事業名	女性が語るみち作りフォーラム参加事業		所属部局	建設部		単位番号	7039						
	☐ 実施計画事業		所属課室	都市計画課		課長名	齊藤 貞文						
			所属担当	計画担当		担当者名	三棚 武						
基本政策	基本計画体系	Ⅲ	うるおいと利便性のある都市づくり		予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政 策		11	道路網の整備		事業区分	01	一般	08	04	01	020	03	
施策		18	生活関連道路の整備			☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金							
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 16 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠	なし									
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 全国の女性みちの会会員が一堂に会し意見発表や情報交換を行い、各地域が抱える課題や道路整備の進捗状況を把握する場として、年1回東京都内で開催されている。					事業費の主な内訳 (24年度 決算見込)							
						項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)	
						旅費(費用弁償)		14					
						旅費(普通旅費)		15					
						負担金(会議研修)		22					
											計		51

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	女性が語るみちづくりフォーラムへの参加
25年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
女性みちの会会員	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
他県のみちの会のメンバーと意見交換等を行い、生活関連道路の整備促進を図る。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
生活関連道路が整備され地域の活性化が図られる。	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
意見交換会の開催回数	回
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
意見交換会への参加回数	回
意見交換会への参加人数	人
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
有益な情報交換・交流が図れたと感じた参加者の割合	%
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
目的地までの移動時間が短縮されたと感じた住民の割合	%

(2) 事業費・指標の推移			単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	52	51	89	89	89			
	事業費計 (A)		千円	52	51	89	89	89	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2			
		延べ業務時間	時間	20	20	20	20	20			
		人件費計 (B)	千円	79	79	79	79	79	0	0	
	(A)+(B)		千円	131	130	168	168	168	0	0	
活動指標		回		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0			
対象指標		回		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0			
		人		4.0	5.0	5.0	5.0	5.0			
成果指標		%		70.0	70.0	70.0	70.0	70.0			
上位成果指標		%		55.2	58.5	64.0	64.0	64.0			

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	全国各地で活動をしている女性みちの会の情報交換を目的に平成15年頃から開始された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	各地で要望している道路が完成することにより、女性みちの会の活動はやや縮小傾向となる。したがって、本フォーラム参加者は今後減少傾向になることが予測される。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	女性の持つみちづくりへの観点を活かして、今後も継続して道路整備の必要性を訴えていく。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容↓】 ☒ 取り組みしていない⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	本事務事業の主な内容が意見交換、情報交換等であるため、特に改革改善はなされていない。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	特になし。

事務事業名	女性が語るみち作りフォーラム参加事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 女性の持つみちづくりの観点を活かして意見交換、情報交換等を行うことにより、そこで得た情報が本市道路整備事業にも反映されるので、生活関連道路の整備に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 地域の代表として、他県と連携、交流を図り、地域の活性化となるみちづくりの促進に寄与しているので妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 ☐ 民間・NPO ☐ 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 全国各地の女性みちの会の活動状況を直接聞ける機会なので、年1回程度であれば維持、継続していくことは妥当といえる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 全国各地の活動状況を把握する機会としては貴重な場といえるが、そこで得た知識が効果的に活用されていない。また、道路整備予算が削減されている現状では、要望活動の成果も現れにくい。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 全国レベルでの情報交換が出来る唯一の機会となっているため統合することは困難である。 ☐ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☒ 影響なし ☐ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 ☒ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 全国女性みちの会として幅広く情報交換や要望活動をする機会が失われ、女性の視点からの道路整備促進活動が停滞する可能性がある。目的を達成するためには、連携性と継続性が重要である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 事業費は、負担金と旅費のみであるため、削減余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 フォーラム参加に伴う会員と事務局の人件費のみなので削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 極めて公共性の高い道路整備の促進を図ることを目的としているので公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	高速道路等の早期完成を目指し、交流会等に参加し女性の立場から意見要望を発信している。これからも継続していくことが望ましい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
①		(5) 事務事業優先度評価結果																						
②		成果優先度評価結果	⑫																					
③		コスト削減優先度評価結果	⑥																					